

宮城県感染症発生動向調査情報(第8週)

宮城県【平成26年02月27日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.2.17 ~ 2.23 ・ 第8週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)							
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第5週	第6週	第7週	第8週	
水痘	8 1.60	5 0.50	7 1.40		3 1.00	5 1.00	0.50	13 0.50	42 0.72	461	◎→	○→	○→	○	
流行性耳下腺炎		2 0.20			2 0.67	1 0.20	2 1.00	6 0.23	13 0.22	97	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	56 11.20	33 3.30	36 7.20	5 2.50	32 10.67	49 9.80	9 4.50	175 6.73	395 6.81	5,046	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病	1 0.20							1 0.04	2 0.03	14	→	→	→		
伝染性紅斑		8 0.80	1 0.20	1 0.50				19 0.73	29 0.50	271	○→	○→	レ→	○	
突発性発しん	2 0.40	4 0.40	7 1.40	1 0.50	2 0.67	2 0.40		15 0.58	33 0.57	240	○→	○→	レ→	○	
ヘルパンギーナ											→	→	→		
インフルエンザ	285 35.63	304 20.27	181 22.63	48 16.00	131 26.20	192 24.00	47 11.75	1366 32.52	2554 27.46	10,420	◎→	◎→	◎→	◎	
咽頭結膜熱		1 0.10		2 1.00				1 0.04	4 0.07	69	→	→	→		
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.08	1 0.08	12	→	→	→		
急性出血性結膜炎								1 0.17	1 0.08	1	→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23 4.60	23 2.30	9 1.80	18 9.00	7 2.33	22 4.40		81 3.12	183 3.16	1,122	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			7 7.00		9 0.75	60	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	2 0.40	1 0.10		1 0.50	1 0.33	1 0.20	3 1.50	5 0.19	14 0.24	170	レ→	→	→		
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3		1			2			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病							1			【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/				
	不明発疹症	2						1							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※							1 0.20	1 0.08	14					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2014年 第3週		22.7	28.7	13.6	3.6	5.6	9.6	7.3	5.1	2.4	1.3	0.2	551
第4週		19.7	36.8	16.0	2.7	4.1	8.3	4.8	4.1	2.1	0.8	0.7	1,060
第5週		20.1	36.3	16.9	2.7	5.1	7.5	4.6	3.1	2.6	0.6	0.5	1,567
第6週		21.5	36.5	17.2	2.0	4.8	6.2	4.9	3.1	2.3	1.1	0.5	2,076
第7週		17.4	39.7	19.8	2.5	3.5	6.4	4.9	3.4	1.4	0.7	0.3	2,305
第8週		18.2	39.2	22.3	2.5	2.5	6.3	4.4	1.9	1.7	0.5	0.4	2,554

インフルエンザ定点
インフルエンザ定
点とは、小児科定
点と内科定点を
合わせたもので、
県全体で93定
点(県:51、仙
台市:42)となっ
ています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第6週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(52.38)、群馬県(43.08)、埼玉県(41.77)である。インフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は925例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(64例)、1~9歳(329例)、10代(65例)、20代(15例)、30代(25例)、40代(32例)、50代(47例)、60代(87例)、70代(125例)、80歳以上(136例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,595例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当週週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は石川県(1.55)、島根県(1.48)、鹿児島県(1.33)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(17.08)、山形県(14.67)、鹿児島県(14.51)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は埼玉県(1.40)、岡山県(1.00)、島根県(0.75)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 報告数は増加した。都道府県別では18都道府県から59例報告があり、年齢別では0歳(10例)、1~4歳(39例)、5~9歳(8例)、70歳以上(2例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。
()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 男性1名(第6週)、男性1名、女性1名
 - 仙南管内 女性1名
 - 大崎管内 男性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: A型肝炎
 - 大崎管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名、女性2名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名
- 梅毒
 - 仙台管内 男性1名、女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 15例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [インフルエンザ]
 - 仙南管内で警報継続中。
 - 仙台管内で警報値を超えた。
 - 塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼管内で注意報継続中。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
 - 栗原管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

- インフルエンザ患者より
 - 気仙沼管内 第7週採取分 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 1件
 - 第8週採取分 インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件
 - 塩釜管内 第7週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 3件
 - インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 2件
 - インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件
 - 第8週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 1件
 - インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件

感染性胃腸炎患者より

- 塩釜管内 第4週採取分 アデノウイルス41型 1件
- ノロウイルスG II 1件
- 第5週採取分 ノロウイルスG II 1件
- 第6週採取分 ノロウイルスG II 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第6週採取分 (2.3~2.9)	第7週採取分 (2.10~2.16)	第8週採取分 (2.17~2.23)
インフルエンザウイルスAH1pdm	4件	10件	0件
インフルエンザウイルスAH3	9件	1件	0件
インフルエンザウイルスB	6件	11件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	5件	7件	10件
RSウイルス	1件	0件	0件
アデノウイルス	1件	1件	0件

[インフルエンザ]

今週仙台管内で警報値(1定点当り30人)を超え、患者数は県全体で2,554人と今シーズンの最高になりました。患者の年齢群別割合を見ると、0から14歳が多く、特に5から9歳が4割を占めています。今後も学校や施設など集団生活の場での流行が継続する可能性がありますので、下記HP等を参考に日常的な予防を心がけてください。

- ・厚生労働省 インフルエンザQ&A
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>
- ・インフルエンザ予防チラシ
<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/86901.pdf>
- ・インフルエンザ様疾患による学校の措置状況地図
<http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/flumap/public>